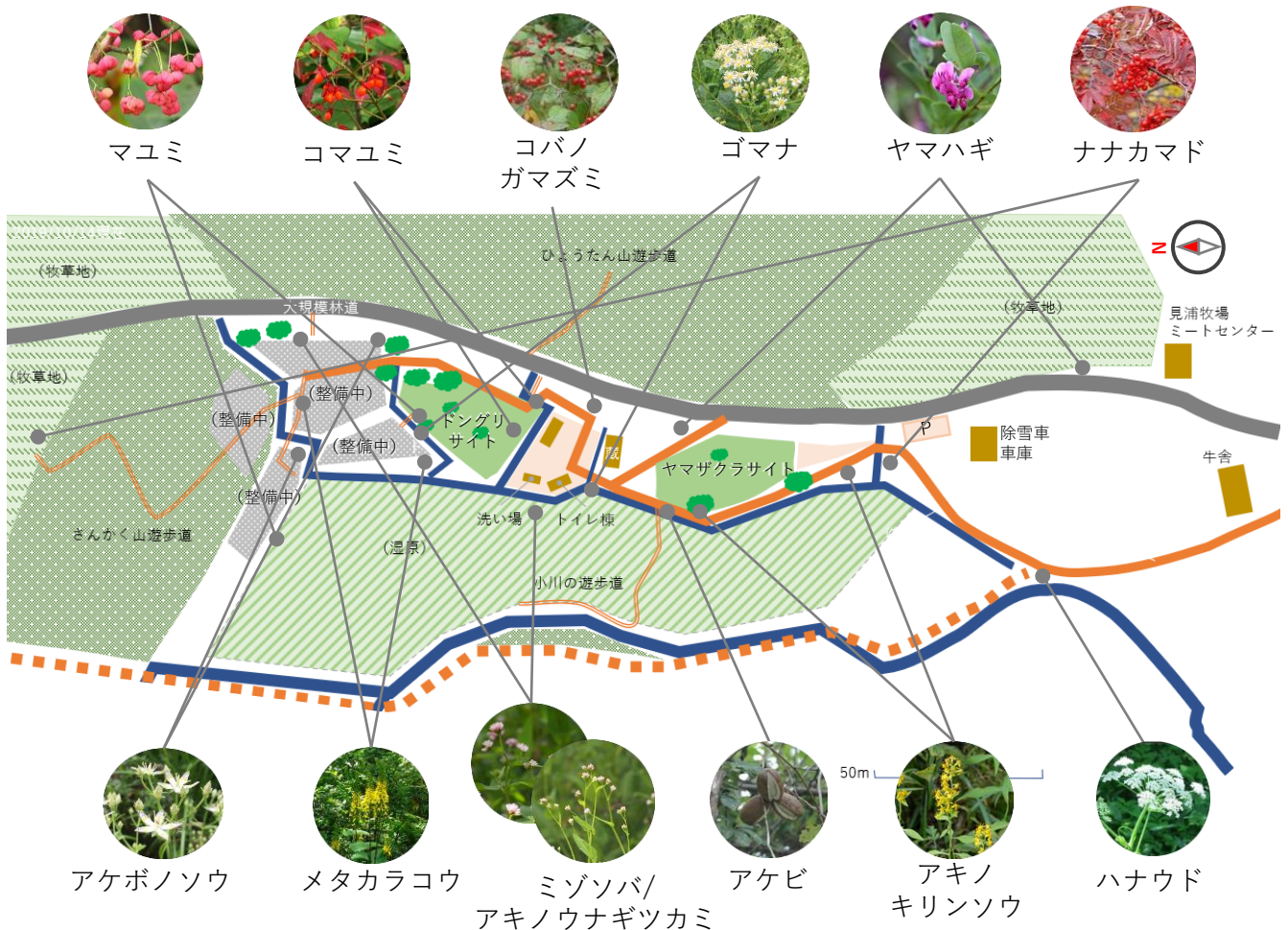


まきばの里通信Vol 2.2

小板まきばの里へようこそ。小板まきばの里は西中国山地国定公園内の南に深入山、北に臥竜山で挟まれた標高700mの山里、小板集落の一角にあります。2018年11月にこの地に移住してきたスタッフ2名が60年以上前に住人がいなくなり荒地と化した耕作放棄地を、この土地の自然の恵みを活用しながら手作りで開拓しています。このキャンプ場ならではの豊かな自然と波乱万丈の開拓現場の探索をお楽しみください。

■ キャンプ場周辺で秋の植物を探索しよう！



草花豆知識

キャンプ場西側の湿原に小さなピンク色のコンペイトウのような花がたくさん咲いています。少し大きめの花は「ミゾソバ」。花や葉が「ソバ」に似ています。花が小さ目で葉が細く茎に細かいトゲがたくさんあるのは「アキノウナギツカミ」でとげとげの茎でぬるぬるしたウナギもつかめるの意。また、キャンプ場には咲いていませんが、よく似た植物に「ママコノシリヌグイ（継子の尻拭い）」という痛そうな名前のもめるとか。草刈りで痛い思いをさせられるトゲに昔の人が閉口していたことが想像できる、面白い名前ですね。